

令和4年度

学校評価報告書
(自己評価・学校関係者評価)

令和5年3月17日(金)

沖縄県立中部商業高等学校

目 次

一 令和4年度学校評価の目的及び実施方法

1 目的	1
2 基本方針	1
3 実施概要	1

二 令和4年度学校評価実施計画

1 評価の種別	2
2 日程	2
3 各評価の実施方法	2

三 学校評価（自己評価）

1 今年度の状況	
(1) 職員数	3
(2) 生徒在籍数（在籍・異動・休学・退学等）状況	3
(3) 成績上位者	3
(4) 勤怠状況	3
(5) 進路状況	4
(6) 生徒指導の状況	4
2 自己評価（アンケート結果考察）	6

四 学校関係者評価（自己評価に関する指摘事項）

(1) 学校生活	9
(2) 学習指導	9
(3) 進路指導	9
(4) 生活指導	9

（付録）学校評価に係る生徒・保護者・教職員アンケート結果

- (1) 生徒アンケート結果
- (2) 保護者アンケート結果
- (3) 教職員アンケート結果

一 令和4年度学校評価の目的及び実施方法

1 目的

この要項は県立学校管理規則第63条、学校評価実施要項(平成14年3月26日県立学校教育課長決裁)及び本校学校評価実施計画に基づき、教育活動全般にわたって、総合的・客観的・具体的に評価し、成果と課題等を明確にして教育目標を達成するために行う。

2 基本方針

- (1) 本校生徒、保護者、教職員、学校評議員に対して学校評価アンケートを実施する。
- (2) 学校評価(自己評価)結果について、学校評議員会で報告する。
- (3) 学校評価(自己評価)結果を本校Webページに掲載する。

3 実施概要

- (1) 対象 本校生徒、保護者、教職員、学校評議員

- (2) 質問項目

- ①生徒アンケート

- ・ 学校生活、学習指導、進路指導、生活指導、特別活動、健康安全の6項目
- ・ 5段階評価「5 満足している」「4 ほぼ満足している」「3 どちらともいえない」「2 あまり満足していない」「1 不満である」
- ・ Forms による回答(LHRを活用)

- ②保護者アンケート

- ・ 学校運営、学習指導、進路指導、生活指導、特別活動、健康安全、家庭地域との連携の7項目
- ・ 5段階評価「5 満足している」「4 ほぼ満足している」「3 どちらともいえない」「2 あまり満足していない」「1 不満である」
- ・ 依頼文書及びアンケート用紙の配布
- ・ Forms による回答

- ③教職員アンケート

- ・ 学校運営、教科指導、進路指導、生活指導、特別活動、健康安全、家庭地域との連携、服務研修・衛生管理の8項目
- ・ 5段階評価「5 満足している」「4 ほぼ満足している」「3 どちらともいえない」「2 あまり満足していない」「1 不満である」
- ・ Forms による回答

- ④学校評議員アンケート

- ・ 学校運営、学習指導、進路指導、生活指導、特別活動、健康安全、家庭地域との連携の7項目
- ・ 5段階評価「5 満足している」「4 ほぼ満足している」「3 どちらともいえない」「2 あまり満足していない」「1 不満である」
- ・ アンケート用紙による回答

二 令和4年度学校評価実施計画

1 評価の種別

(1) 自己評価

教職員アンケート及びその他の評価資料に基づき評価する。
教職員アンケートは以下の資料を参照し、全職員に実施する
・学業成績状況や進路状況、生徒指導状況等の評価資料

(2) 学校関係者評価

自己評価及びその他の評価資料をもとに評価する。

2 日程

12/14 (水) ~ 12/23 (金)	生徒へ実施
12/15 (木) ~ 1/10 (火)	保護者へ実施
12/20 (火) ~ 1/13 (金)	教職員へ実施
3/16 (木)	県教育庁へ報告 PTA 評議員会で結果報告
3/17 (金)	学校評議員会で結果報告
3/30 (木)	学校 Web ページへ掲載

3 各評価の実施方法

(1) 自己評価

- ①重点取組事項（8項目）について、それぞれ評価項目（合計29問）を設定し、職員アンケート及びその他（学業成績状況や進路状況、生徒指導状況等）の評価資料に基づき評価を行う。
- ②評価基準を以下の5段階で行う。
5：満足している 4：ほぼ満足している 3：どちらともいえない
2：あまり満足していない 1：不満である

(2) 学校関係者評価

- ①自己評価及びその他の評価資料等から重点取組事項（8項目）別に5段階で評価する。

(3) その他の評価資料

自己評価及び学校関係者評価で活用する「その他の評価資料」とは以下をいう。

- ①学籍状況
- ②学業成績状況
- ③勤怠状況
- ④進路状況
- ⑤生徒指導状況

三 学校評価（自己評価）

1 今年度の状況

(1) 職員数

性別	校長	教頭	事務長	主幹教諭	教諭			養護教諭	実習助手		ALT	非常勤講師	就職支援員	就学補助員	事務		司書	用務員	学校医・歯科医 薬剤師・産業医	PTA	計
					本務	臨任	再任		本務	臨任					本務	臨任					
男	0	2	1	1	24	1	0	0	1	0	0	1	1	1	0	0	0	1	3	0	37
女	1	0	0	0	25	4	0	1	3	0	1	4	0	0	3	0	1	1	1	1	46
計	1	2	1	1	49	5	0	1	4	0	1	5	1	1	3	0	1	1	4	1	83

(2) 生徒在籍数（在籍・異動・休学・退学等）状況（3月1日時点）

学科・性別	1年			2年			3年			合計			休学			退学			転出		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
総合ビジネス科	65	45	110	59	53	112	55	47	102	179	145	324	8	7	15	4	4	8	4	5	9
情報ビジネス科	53	16	69	41	29	70	41	19	60	135	64	199	3	2	5	1	0	1	2	0	2
国際ビジネス科	6	26	32	12	20	32	11	29	40	29	75	104	1	1	2	0	0	0	1	1	2
生涯スポーツ科	11	11	22	12	6	18	25	10	35	48	27	75	1		1	0	0	0	1	0	1
計	135	98	233	124	108	232	132	105	237	391	311	702	13	10	23	5	4	9	8	6	14
休学	3	7	10	9	3	12	1	0	1	13	10	23				男	女	休学	退学	転学	
退学	2	4	6	2	0	2	1	0	1	5	4	9	R01	398	352	2	13	26			
転出	4	4	8	3	2	5	1	0	1	8	6	14	R02	418	327	2	20	20			
													R03	432	322	3	4	10			

(3) 成績上位者（評定4.8以上） 80点以上

	1学年	2学年	3学年	合計
R1	21	24	19	64
R2	23	24	17	64
R3	27	24	29	80
R4	19	22	22	63

(4) 勤怠状況（年度末比較）

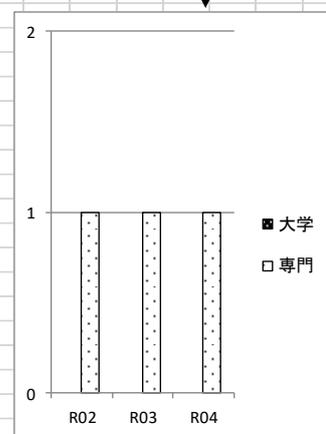
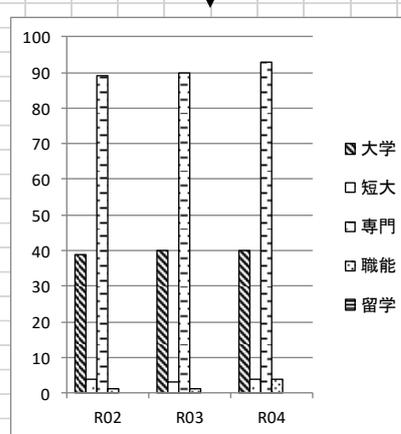
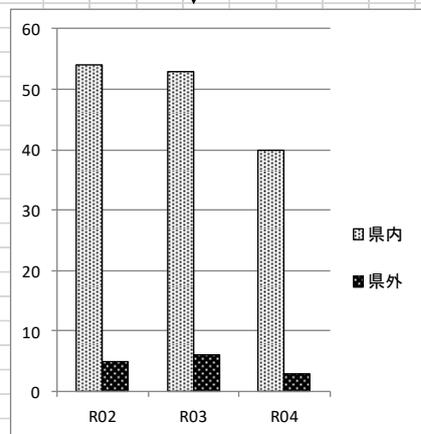
	皆出	成績	欠席	欠課	遅刻	出席
R1	42	64	10,000	11,352	7,922	94.0
R2	47	64	6,132	11,401	9,534	91.6
R3	43	80	9,899	13,891	9,908	92.3
R4	28	63	12,284	21,275	12,864	90.8

(5) 進路状況 (3月1日現在)

卒業生人数		就職			進学						就職進学			進路決定者合計
		県内	県外	計	大学	短大	専門	職能	留学	計	大学	専門	計	
男	152	21	1	22	26	2	46	4	0	78	0	1	1	100
女	98	19	2	21	14	2	47	0	0	63	0	0	0	84
計	250	40	3	43	40	4	93	4	0	141	0	1	1	184

過去3年間における進路先別決定状況

就職				進学						就職進学			
	県内	県外	計	大学	短大	専門	職能	留学	計	大学	専門	計	
R02	54	5	59	39	4	89	1	0	133	R02	0	1	1
R03	53	6	59	40	3	90	1	0	134	R03	0	1	1
R04	40	3	43	40	4	93	4	0	141	R04	0	1	1



(6) 生徒指導の状況 (3月10日時点)

ア 生徒指導の内訳

	1年		2年		3年		合計	
	男	女	男	女	男	女	男	女
嚴重注意	7	2	3	1	5	2	15	5
訓告指導3日	1						1	0
訓告指導5日	7		11		21		39	0
停学指導3日	1		2		1		4	0
停学指導4日	1						1	0
停学指導5日	2	2	1		2	3	5	5
停学指導7日	7		2			4	9	4
停学指導10日	1		1				2	0
停学指導15日	2						2	0
無期停学	2					2	2	2
合計	31	4	20	1	29	11	80	16

イ 学年別懲戒数（年度比較）

	1年			2年			3年			合計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
H30	15	2	17	36	5	41	13	1	14	64	8	72
R1	16	3	19	17	2	19	17	6	23	50	11	61
R2	2	0	2	17	0	17	21	8	29	40	8	48
R3	4	9	13	8	8	16	9	4	13	21	21	42
R4	31	4	35	20	1	21	29	11	40	80	16	96

ウ 懲戒内容

	1年		2年		3年		合計	
	男	女	男	女	男	女	男	女
深夜徘徊	6	2	3	1	2	2	11	5
指導拒否	1						1	0
無断外泊					3		3	0
車両通学(同乗)			14		4		18	0
無免許運転						2	0	2
喫煙	5	4	2		9		16	4
飲酒	1				2		3	0
盗撮						7	0	7
器物破損	2						2	0
危険行為	1						1	0
SNSトラブル	1						1	0
不正行為 (カンニング)	2		3		9		14	0
暴力行為(ケンカ)	6						6	0
窃盗	7		3				10	0
合計	32	6	25	1	29	11	86	18

エ 携帯電話の指導者数

学年	1年	2年	3年	計
R1	58	35	36	129
R2	64	21	23	108
R3	72	41	17	130
R4	469	248	241	958

2 自己評価（アンケート結果考察）

①生徒アンケート

項目別で見ると、「学校生活(4問)」が他の項目と比較すると「あまり満足していない」「不満である」の割合が高い(表1)

表1「学校生活」の回答結果

番号	質問項目	平均	5	4	3	2	1	評価
1	学校は楽しい。	3.7	27.0%	30.4%	29.8%	7.0%	5.8%	B
2	各学科の行事や学校行事が充実している。	3.6	26.5%	21.1%	34.1%	15.1%	9.8%	B
3	学校の施設・設備は、学習しやすいよう整備されている。	3.5	21.4%	29.2%	32.0%	10.9%	6.4%	B
4	学校の教室やトイレなど校内がきれいである。	2.1	6.7%	7.5%	18.9%	27.6%	39.3%	C

特に設問4は、「あまり満足していない」「不満である」の合計は66.9%(昨年度51.1%)と約2/3で唯一「C」である。施設の老朽化も要因の1つであるが、清掃活動等の環境整備の改善が急がれる。自由記述にもトイレの整備を要望する声が多々見られる。

次に設問2は、昨年度平均で3.2であったが、今年度平均が3.6となり0.4ポイント改善している。昨年度まではコロナ禍で行事の中止や規模の縮小も要因と1つと考えられたが、今年度は大きな行事がコロナ禍以前のように実施できたことが大きい。今後も with コロナの中でさらに行事の精選や内容の見直しを行いたい。学校生活を送る中で、自主性や協調性、他者を思いやる心の育成を図ることで、設問1の改善も期待できる。

「進路指導」の質問項目は、昨年度とほぼ同様の結果である。(設問10のみ0.1ポイント改善)(表2)

表2「進路指導」の回答結果

9	学校の授業や行事などは、将来に結び付く(役立つ)内容である。	3.8	27.0%	38.4%	26.7%	5.6%	2.2%	B
10	学校は、進学や就職のための講座や面接指導が充実している。	3.9	31.2%	35.9%	27.0%	4.2%	1.7%	B
11	先生は、将来の進路や働くことのことについて適切なアドバイスを行っている。	3.9	30.9%	37.3%	24.5%	5.0%	2.2%	B

「進路指導」については、すべてで評価「A」がつくようにするため、学校全体として生徒に対する進路意識の高揚を図る取組の充実・強化が不可欠である。特に入学時からの早期の進路指導を充実させ、規範意識を高めることができれば、生徒指導面での改善も期待できる。

「生活指導」の質問項目では、今年度から質問13を追加している。(表3)

表3「生活指導」の回答結果

12	学校は、ルールやマナー・身なりに関する指導をきちんと行っている。	3.9	32.9%	35.4%	24.2%	5.0%	2.5%	B
13	学校は、人権侵害防止に関する指導をきちんと行っている。	3.8	30.9%	30.1%	31.5%	3.1%	4.5%	B
14	学校は、勤怠(遅刻・欠席・欠課)に関する指導をきちんと行っている。	4.0	36.5%	35.9%	23.4%	3.1%	1.1%	A
15	学校は、飲酒・喫煙・薬物等に関する指導をきちんと行っている。	4.1	40.4%	33.1%	22.3%	1.9%	2.2%	A
16	学校は、交通安全教育に関する指導をきちんと行っている。	4.0	38.2%	31.8%	26.2%	1.7%	2.2%	A

「生活指導」については、質問13以外は、昨年度と同じ評価である。質問13(新規)の評価があまりよくない結

果となっているため、学校全体として人権侵害防止の取組強化が必要である。

「特別活動」の設問16「ホームルーム活動は、クラスの仲間と協力して活発である」の、「あまり満足していない」「不満である」の合計は4.7%(昨年度6.6%)である。不本意入学の生徒も少なからずいることも事実ではある。先述した「学校生活」の質問2の改善と関連し、昨年度より改善はみられるものの、各学年・各学級がこれまで以上に創意工夫し、ホームルームの活性化に向け取り組んでいく必要がある。

②保護者アンケート

昨年度は全ての質問で「B」評価であったが、今年度は4つの質問で「A」評価をいただいている。(表4) 残りの質問は、「概ね良好。概ね目標を達成した。」となっているが、平均3.5未満の項目は以下のとおりである。(表5)

表4「A」評価の質問項目

8	学校は、各種講座など資格取得に向けた取り組みが行われている。	4.0	34.1%	38.8%	22.4%	4.7%	0.0%	A
9	学校は、進路について必要な情報を十分に知らせている。	4.0	32.9%	41.2%	21.2%	4.7%	0.0%	A
17	学校は、各学科の行事や学校行事が充実している。	4.0	32.9%	44.7%	16.5%	5.9%	0.0%	A
25	学校は、広報誌やホームページ、メーリングサービスなどを活用した広報が充実している。	4.2	37.6%	42.4%	17.6%	2.4%	0.0%	A

昨年度の評価を受け、改善に取り組んだ結果である。特に質問25(昨年度平均3.9よりも0.3ポイントの大幅な改善が見られた。導入して3年目となるメーリングサービス「スクリレ」の保護者活用率が上昇した結果であると考えられ、職員の活用機会も増加し、学校HPと連動した広報活動ができている。今後も保護者の皆さまにとって有意義な情報発信ツールとして活用していきたい。

表5 評価「B-(マイナス)」の質問項目

4	学校は、教室内外・トイレの掃除など、校内の環境美化・整備によく取り組んでいる。	3.4	10.7%	39.3%	35.7%	3.6%	10.7%	B
---	---	-----	-------	-------	-------	------	-------	---

保護者アンケートの結果も、概ね、生徒アンケート同様な結果となっている。生徒アンケートの考察と同様な取り組みの充実強化を図る必要がある。

生徒アンケートにはない項目「家庭地域との連携」については、以下のとおりである。(表6.一部再掲)

表6「家庭地域との連携」回答結果

25	学校は、広報誌やホームページ、メーリングサービスなどを活用した広報が充実している。	4.2	37.6%	42.4%	17.6%	2.4%	0.0%	A
26	学校は、PTA活動や地域活動に積極的に取り組んでいる。	3.8	25.9%	35.3%	36.5%	1.2%	1.2%	B
27	学校は、保護者や地域の要望に答えている。	3.7	25.9%	25.9%	45.9%	1.2%	1.2%	B

③教職員アンケート

アンケート設問29問中平均4以上のA評価となっているのは6問(昨年度13問)あり、平均4.5以上の設問は0問(昨年度3問、表7)となっている。多くの質問項目で昨年度から低下をしているが、昨年度を上回った質問は8問であった。(表8)

表7 昨年度(令和3年度)上位評価項目

5	学校は、ICT機器などを活用して、わかりやすく興味関心が持てるように教え方を工夫している。	4.5	48.9%	48.9%	2.1%	0.0%	0.0%	A
21	学校は、日頃からいじめを相談しやすい雰囲気づくりやアンケート調査、声かけなどを行い、いじめの早期発見に努めている。	4.5	51.1%	48.9%	0.0%	0.0%	0.0%	A
22	学校は、いじめが発生した場合、すぐに被害者を保護し、いじめの事実確認などいじめの解消に向けた対応が行われている。	4.5	51.1%	44.7%	0.0%	0.0%	0.0%	A

今年度の上記質問に対する評価平均は質問5で4.0、質問21で4.1、質問22で4.0となった。昨年度と比較して「1人1台端末の活用」「いじめ防止対策」の面で評価が下がっていることから次年度以降は更に充実・強化に向けた取り組みが必要である。

表8昨年度より改善が見られた質問

10	学校は、進学や就職のための講座や面接指導が充実している。	4.1	23.5%	64.7%	8.8%	2.9%	0.0%	A
11	学校は、授業やインターンシップを通して、生徒の進路や働くことのことについて適切な助言が得られている。	3.8	8.8%	61.8%	26.5%	2.9%	0.0%	B
12	学校は、ルールやマナー・身なりに関する指導をきちんと行われている。	3.7	14.7%	44.1%	35.3%	5.9%	0.0%	B
15	学校は、飲酒・喫煙・薬物等に関する指導をきちんと行われている。	3.9	26.5%	44.1%	23.5%	5.9%	0.0%	B
16	学校は、交通安全教育に関する指導をきちんと行われている。	3.7	14.7%	47.1%	29.4%	8.8%	0.0%	B
17	学校は、各学科の行事や学校行事が充実している。	3.9	20.6%	52.9%	23.5%	2.9%	0.0%	B
18	学校は、部活動や生徒会活動が盛んである。	3.3	2.9%	41.2%	38.2%	17.6%	0.0%	B
20	学校は、生徒の健康や安全管理に気を配っている。	4.4	41.2%	52.9%	5.9%	0.0%	0.0%	A

特に質問12は昨年度平均2.9より0.8ポイント改善が見られる。生徒指導部の職員の努力に、全職員が連携・協力して取り組んだ結果だと考えられる。

生徒・保護者アンケートにはない項目「服務研修・衛生管理」については、以下のとおりである。(表9)

表9「服務研修・衛生管理」回答結果

28	学校は、法令遵守を含め職員の資質を高める職員研修の充実が図られている。	4.0	20.6%	61.8%	17.6%	0.0%	0.0%	A
29	学校は、職員の健康管理について適切な助言や相談に取り組んでいる。	3.8	5.9%	73.5%	14.7%	5.9%	0.0%	B

いずれも昨年度より低い結果となった。昨年度の平均評価:質問28(4.4)、質問29(4.2)

今年度は年度途中からの病欠休暇者が多くなっている(4名)。代替補充もつかない状況の中で、他の職員への負担過重にもなっている。管理者は職員の健康管理だけではなく、ラインケアを十分に行う必要がある。

④共通項目の分析

「生活指導(5問)」の項目では、教職員の満足度は低い(すべて「B」評価)が、生徒は5問中3問で「A」となっている。生徒には高評価であるが、教職員の中には指導の在り方をもっと強化すべきだと感じている職員がいるのではないかとと思われる。

質問4「学校は、教室内外・トイレの掃除など、校内の環境美化・整備に努めている」では、生徒・保護者・教職員ともに満足度が低くなっている。①生徒アンケートの考察でも触れているが、施設の老朽化も要因の1つであるが、清掃活動等の環境整備の改善が急がれる。職員からもトイレの便座を和式を様式にして欲しいとの意見もあるため、引き続き県へ要望していきたい。

コロナ禍で思うような学校運営はできていないが、十分な感染症防止対策を講じた上で、あれもできない、これもできないではなく、教職員・生徒・保護者が一体となって知恵を出し合い、学校生活が充実し、生徒一人一人が1つでも多くの思い出が残る高校生活を送れるよう学校運営に取り組みたい。

四 学校関係者評価（自己評価に関する総括・指摘事項）

第3回学校評議員会において、学校評価（自己評価）の報告を行った後、学校評議員による学校関係者評価を実施した。

令和4年度第3回学校評議員会

- 日 時 令和5年3月17日 16時～17時
- 場 所 沖縄県立中部商業高等学校社会科教室
- 評議員
 - 川 根 茂 森 本校元校長（委任）
 - 濱 川 あけみ 地域代表 空手道場運営
 - 翁 長 孝 博 同窓会代表 IT企業経営者（委任）
 - 仲 間 烈 同窓会代表 浦添市議会議員
 - 時 田 三千代 地域代表 本校元PTA会長

(1) 学校生活・運営

校内美化は非常に大事なことです。生徒たちの清掃活動の充実が必要。洋式トイレ等への早急な改修ため学校側から要請を検討してください。

学校評価の回答率が低い。実施時期や実施方法の検討をして欲しい。

(2) 学習指導

学習面や勤怠面で頑張っている生徒から後輩に向けてメッセージを送ることで激励していくことができないか検討して欲しい。

(3) 進路指導

生徒個々の進路希望に応じたきめ細かい指導に期待したい。普段からの指導をしっかりと継続させ、進路決定につなげてもらいたい。

(4) 生徒指導

勤怠状況の改善と勤怠指導の工夫が必要である。